

～ 市萬だより ～

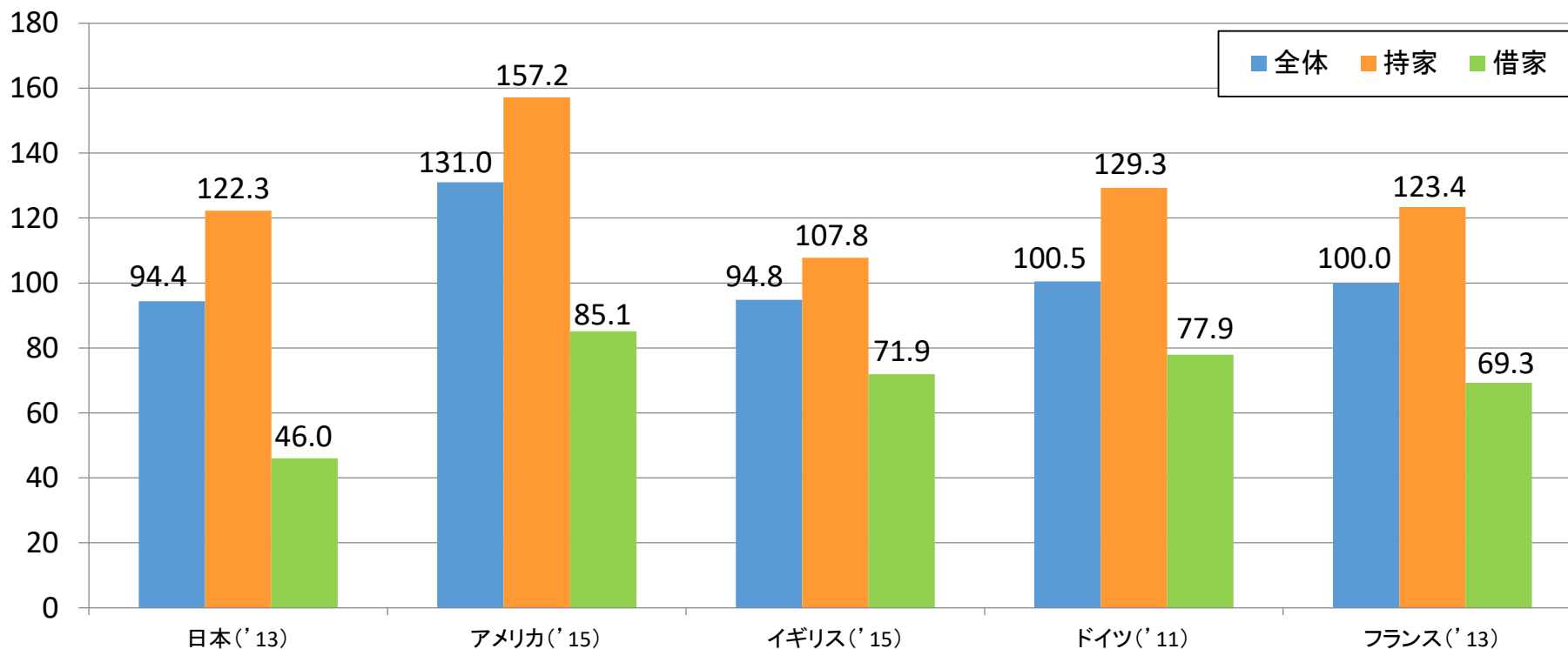
市況情報

2019.May

日本の賃貸住宅はまだまだ狭い？ 平均床面積は46.0㎡と欧米に比べ低い水準に

かつては「ウサギ小屋」と言われた日本の住宅。住環境の改善が進み、今では全体の床面積は世界と肩を並べられるようになりました。特に持家では狭さが解消され、平均の床面積は122.3㎡となっています。しかし、借家においては今だ低い水準です。空家が増える中、これからの賃貸住宅は広さを確保し、優位性を持たせることが必要かもしれません。

戸当たり住宅床面積の国際比較(壁芯換算値)



出典：国土交通省「平成29年度 住宅経済関連データ」

この件に関するお問い合わせは

株式会社市萬 不動産経営アカデミー事務局 ☎03-5491-5213